

水稻、小麦、大豆、ブロッコリー／多品目化、効率化、担い手の育成・確保
先端技術を導入し若手や女性の農業への参画を推進する大規模経営体
～株式会社西濃パイロット（岐阜県大垣市）～

経営体の概要

設立年度：平成8年
基幹作物：水稻（主食用米）
経営面積：24a

現在：令和6年
基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）
小麦、大豆、ブロッコリー
経営面積：280ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

- 基幹的農業水利施設である頭首工の機能が低下。
- 幹線水路等は施設の老朽化により用水の安定的な供給に支障。



継ぎ目から地下水が流入している状況

【現在】

- 国営かんがい排水事業「西濃用水第二期地区」（H21～H26）により基幹的農業水利施設の改修が行われ、安定的に農業用水を供給。
- 続いて「西濃用水第三期地区」（R6～R15）により第二期地区での未改修施設の老朽化対策と耐震化対策を行い、用水の安定供給と農業水利施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定を目指している。

営農改善、経営転換等のポイント

①作付作物の多品目化

国営土地改良事業等により農業用水が安定的に供給され、排水性も高まったことで多品目の作付けが可能となり、水稻に加え、小麦、大豆も安定的に生産できるようになった。また、冬期の収益を確保するためブロッコリーの栽培を開始した。



ブロッコリー栽培の様子

②機械・施設の導入・整備及び作業の効率化

品質の良い米を提供するため、苗づくりから乾燥、精米まで同社で一括管理できるライスセンターを設置し、農産物検査員を社内に3名配置。また、ドローンによる水稻、小麦の殺菌・殺虫防除を行うとともに、限られた人数でも大規模な水田の管理を可能にするため、作業を分担し、チーム制（耕うん、代かき、田植）で作業を行うなど、効率化を図っている。



ライスセンター

③担い手の育成・確保

社員の大半が若手や女性で構成され、給与や休暇等、一般企業の会社員に近い待遇が導入されている。また、GPSを搭載したトラクターと田植機の導入により誰もが即戦力となり、人による作業量の差が生まれないようにするなど工夫することで、若手及び女性が働きやすい環境づくりに努めている。



西濃パイロットの皆様

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：岐阜県大垣市外6町
受益面積：4,928ha
事業期間：令和6年度～令和15年度
事業目的：農業水利施設の改修及び耐震化
主要工事：頭首工改修2か所、用水路改修 L=15.3km
水管理施設改修一式

位置図



<問合せ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和6年度調査時点）